

国際的なイニシアチブ「温室効果ガス排出削減目標」の指標である SBT (Science Based Targets) 中小企業版の認定を受けました。



～自然と共に生きるサステナブルな企業へ～
目標：2030 年までに地球温暖化による気温上昇を 1.5°C 未満に抑える
2020 年の基準年に対して温室効果ガス排出量を 42% 削減に向けて、省エネに努めてまいります。



SBT とは

「Science Based Targets (科学的根拠に基づく目標)」の頭文字を取った略称
2015 年の「パリ協定」(世界の気温上昇を産業革命前より 2°C を十分に下回る水準 (Well Below 2°C) に抑え、また 1.5°C に抑えることを目指すもの) が求める水準と整合した、5 年～15 年先を目標年として企業が設定する、温室効果ガス排出削減目標のことです。
※「CDP」「国連グローバルコンパクト (UNGC)」「世界資源研究所 (WRI)」「世界自然保護基金 (WWF)」の、四つの機関が共同運営し、「We Mean Business」の取り組みの一つとして実施されています。

出典：一般社団法人 CDP Worldwide-Japan

SBT 認定要件

Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出

Scope2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

Scope3：Scope1、Scope2 以外の間接排出 (事業者の活動に関連する他社の排出)

※中小企業向けの SBT では Scope3 は対象範囲に含めておらず、企業規模に合わせて実現可能な計画が立てられるよう、配慮されています。